

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

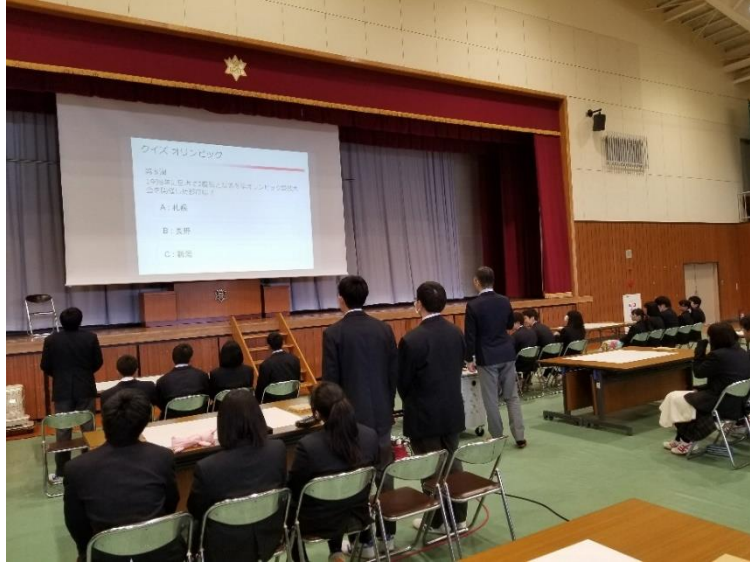
道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校 1・2年生 62名 1年生 32名（男子23名、女子 9名） 2年生 30名（男子17名、女子13名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（保健体育） 2 行事名（ ） ③ その他（オリパラ講演会） (2) 地域における活動 1 イベント名（ ） 2 その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックについて学習することを通して、スポーツの素晴らしさや生涯スポーツに対する意識の高揚を図ると同時に、2020東京オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるきっかけとしたい。
5 取組内容	(1) 事前準備 ア 授業を通して オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を保健体育の授業を通して調べた。 イ 講師の選定・依頼 当初の計画ではJOC関係の方の講演とオリンピックによる講演の二本柱を考えていたが、授業等を通して生徒のオリンピックに関する興味が低かったため、計画を変更し今年度はオリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関して学ぶことを第一目標とした。 (2) 講演会 ア 期日 平成30年2月16日（金）10:50～13:00 イ 場所 水戸桜ノ牧高等学校常北校体育館 ウ 講師 公益財団法人 日本オリンピック委員会 JOC国際人養成アカデミーディレクター 相馬浩隆 氏 エ 演題 「オリンピック・パラリンピックの価値」 (グループワークとアクティビティ) (3) 事後学習 体育の授業で、現在開催されている冬季オリンピックの話題を提供したり、実際の競技を視聴させたりしてオリンピックに対する関心を持たせた。

6 主な成果

生徒から見た「オリンピック」は決して身近な存在ではない。しかし、講演会の開催時期が冬季オリンピック開催中であったことがタイムリーであったと感じる。

「オリンピック」について、導入段階でクイズ形式の発問から講演が始まり、なかなか正解に結びつかない生徒が多かったが、関心は高められたと思う。

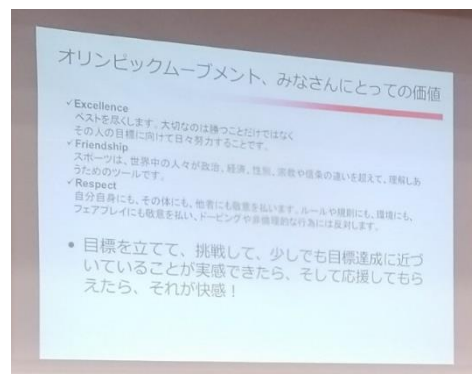


次に「オリンピックムーブメント」についての説明があり、難しいことをわかりやすく説明していただいた。続いて、グループでのアクティビティに移り、生徒たちは生き生きと活動していた。「オリンピックムーブメント」の中心的価値である

①Excellence, ②Friendship, ③Respectをアクティビティにより体感させるものであった。我々教員も一緒に活動し、ベストを尽くすために、共に協力しながら考えを出し合い、ルールに則り活動できた。現在行われているオリンピックのメダリストたちのインタビューを視聴し、アスリートの言葉の中に、今学んだオリンピックムーブメントの価値が込められていることを知ることができた。

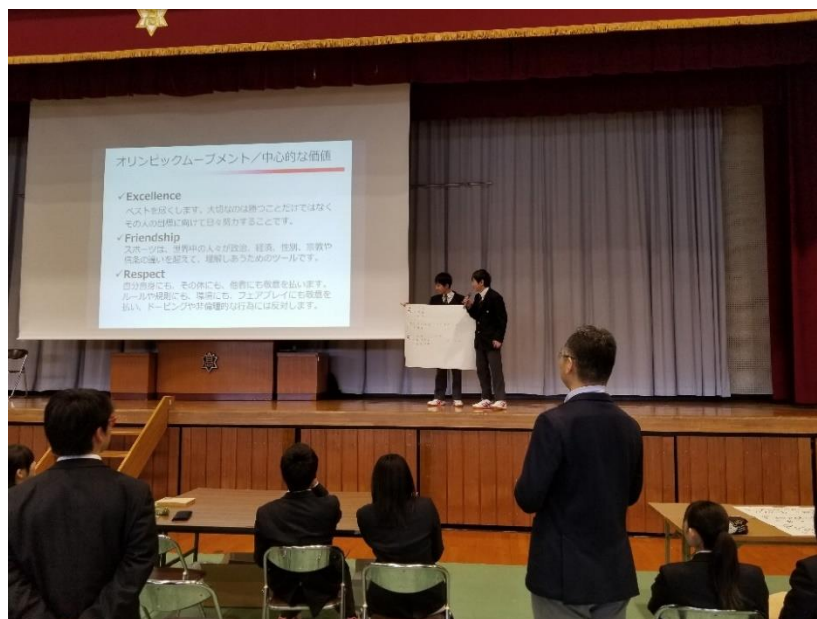


次にグループワークに移り、自分たちの日常生活の中で存在する「オリンピックムーブメント」の考え方を5人～6人で話し合い、模造紙にまとめるワークをした。話し合いの中でお互いを認め合う場面、自分の考えをはっきりと主張する場面を見ることができた。



最後にグループごとにそれぞれの考えを出して発表が行われ講演が終了した。

生徒たちの心に「オリンピックムーブメント」の考えが確実に残ったことを確信した。JOCディレクターの相馬浩隆先生は、本当にわかりやすく、生徒の目線に立って、心を引き付けた講演をしていただき感謝しております。さらに来年度はオリパラへの活動レベルを上げられるよう取り組んでいきたいと思う。



7 実践において工夫した点 (事業の特色)

冬季オリンピック開催中に事業を行うことにより、オリンピックへの関心度が高いと考え、あえてこの時期に実施した。
講師の先生には事前に生徒たちの実態やスポーツに関する関心度等を説明して、講演内容について入念な打ち合わせを行った、

8 主な課題等

グループワークとアクティビティを体育館で実施したことはよかった。また、事前にグループ分けを行ってオリンピックに関する活動を行っていたら、さらに効果は上がったように思う。



9 来年度以降の実施予定

オリンピック・パラリンピックへの関心を高く持たせ、「オリンピックにボランティアとして参加したい」など活動レベルを上げられるような講演会(学習)を実施したい。また、オリンピックを招聘しての講演会も計画したい。